

5. 全体システムの構築

5.1 全体の流れ

ここでは第 3 章で構築した熱源サブシステムと第 4 章で構築した二次側サブシステムを用いて、全体システムを構築する手順について解説する。

5.2 モデルの構築に必要な情報の収集

表 5.1 に機器表を、図 5.1 に配管系統図を、図 5.2 に冷温水二次ポンプの P-Q 特性を示す。図中の破線部分が本節でモデル化を行う部分である。

表 5.1 機器表

記号	名称	仕様	相-電圧 (φ-V)	動力 (kW)	台数 (台)
RH-1~3	直だき吸収冷温水機	冷却能力：422kW (120USRT) 冷水 水量 1、210 ㍈/min 温度 7-12℃ 加熱能力：295kW 温水 水量 1、210 ㍈/min 温度 55-50℃ 冷却水 水量 2、040 ㍈/min 温度 32-37℃ ガス消費量 28.4Nm ³ /h	3-200	3.9	3
CT-1~3	冷却塔	開放形 冷却能力 785kW 冷却水 水量 2、040 ㍈/min 温度 32-37℃	3-200	5.5	3
PCD-1~3	冷却水ポンプ	片吸込渦巻きポンプ 2、040 ㍈/min×187kPa	3-200	11.0	3
PCHP-1~3	冷温水 1 次ポンプ	片吸込渦巻きポンプ 1、210 ㍈/min×132kPa	3-200	5.5	3
PCHS-1~8	冷温水 2 次ポンプ	片吸込渦巻きポンプ 605 ㍈/min×176kPa	3-200	3.7	6
ACU-1~10	ユニット形 空気調和機	床置形 列数 : 6 列 32 本/列 正面面積 : 1.470 m ² 送風量 : 15、000m ³ /h×256Pa 冷却能力 : 104.5kW 入口空気 29.6℃ (22.2WB) 出口空気 17.0℃ (16.0WB) 冷水 水量 300 ㍈/min 温度 7-12℃ 加熱能力 : 57.3kW 入口空気 14.8℃ (8.6WB) 出口空気 23.0℃ (13.8WB) 温水 水量 165 ㍈/min 温度 55-50℃ 外気量 : 3、720m ³ /h 加湿量 : 26.5kg/h (気化式)	3-200	2.2	10
FE-1~10	還気ファン	遠心送風機 15、000m ³ /h×140Pa	3-200	2.2	10
VAV	可変風量装置	最大風量 : 15、000 m ³ /h 最小風量 : 4、500 m ³ /h			10

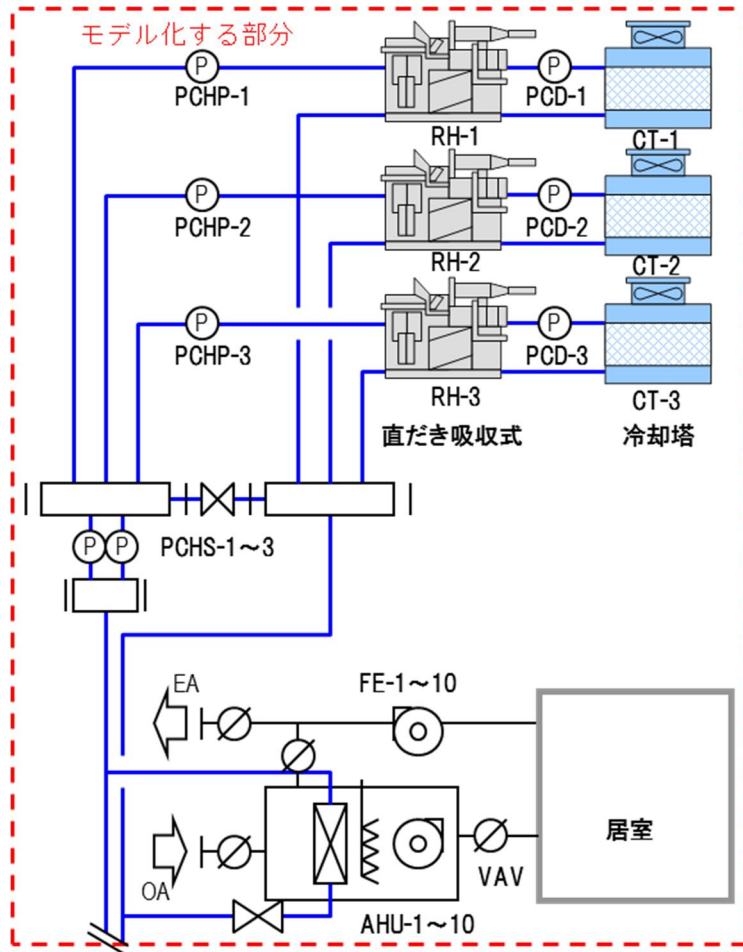


図 5.1 配管系統図

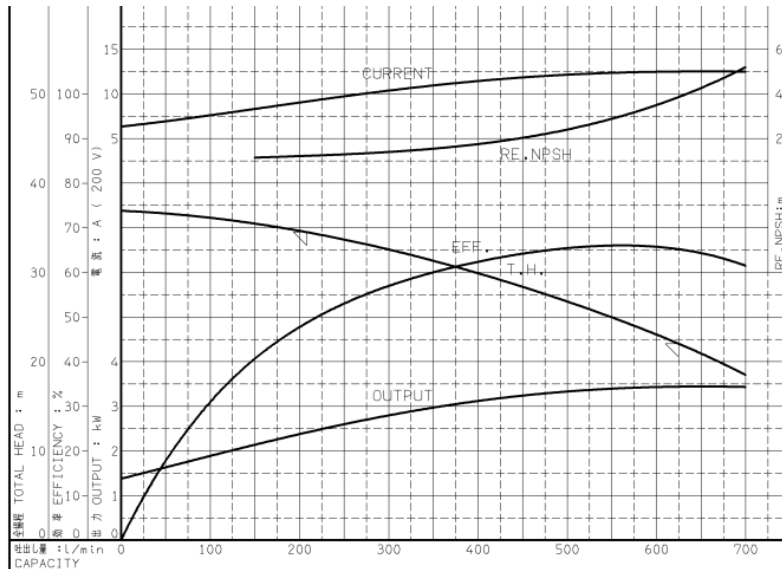


図 5.2 P-Q 特性 (冷温水 2 次ポンプ)

5.3 シミュレーションモデルの構築

第3章で構築した熱源サブシステムと第4章で構築した二次側サブシステムを連結し、全体システムのモデル化を行う。モデル構築作業を行う前に、実際の機器の接続とオブジェクトの配置を図5.3に示すように整理しておくこと、今後の作業が進めやすい。

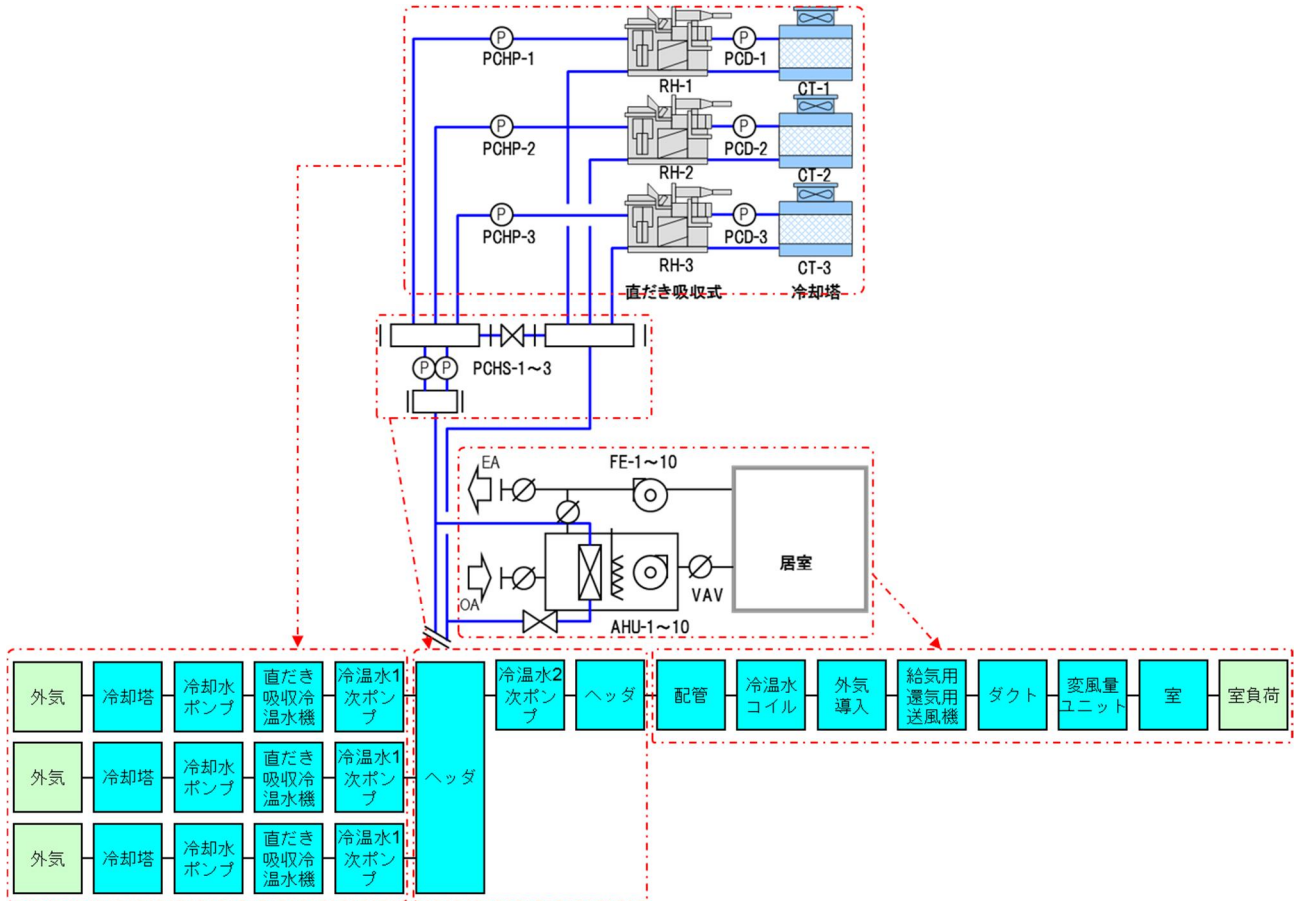


図 5.3 実際の機器の接続とオブジェクトの配置

① 以下のフォルダにある、「構築シート_複式ポンプ方式_Ver303.xls」ファイルを開く。

「LCEM ツール」フォルダ

→「システム構築シート」フォルダ

→「構築シート」フォルダ

→「構築シート_複式ポンプ方式_Ver303.xls」ファイル

「名前を付けて保存」をクリックし、デスクトップ上に「全体システム.xls」ファイルとして保存する。

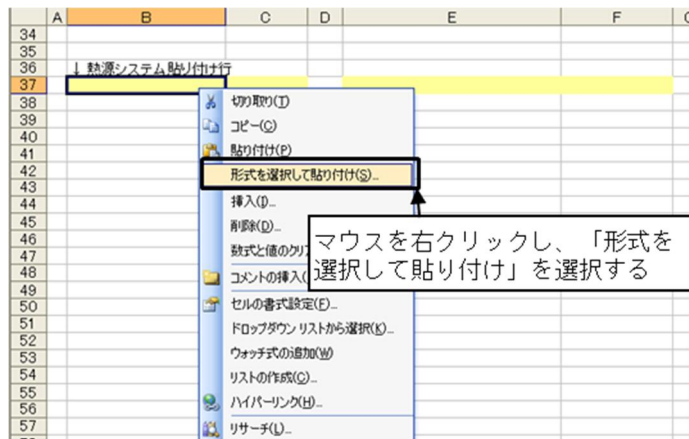
図 5.4 構築シート(複式ポンプ方式)

② 第 3 章で作成した「熱源サブシステム.xls」ファイルを開き、「外気」～「冷温水一次ポンプ」(B20～O69)の部分を選択・コピーする。ここで、右側の境界条件部分はコピーしないことに注意する。

図 5.5 熱源サブシステムのコピー

③ コピーしたものを、構築シート(複式ポンプ方式)上の「熱源システム貼り付け行」の↓に従って貼り付ける(B37～O80)。ここで、構築シート(複式ポンプ方式)上にあらかじめ準備されている「冷温水1次ポンプ」オブジェクトと、新たに貼り付けた「冷温水1次ポンプ」オブジェクトの位置が合致していることを確認する。

貼り付けが完了したら、「熱源サブシステム.xls」ファイルは閉じておく。



⇩ 貼り付け後

図 5.6 構築シート(複式ポンプ方式)への熱源サブシステムの貼り付け

TIPS !

左端にある「熱源システム貼り付け位置」の印は水冷式の熱源システムを想定して用意されたものである。したがって、空気熱源 HP ユニットを用いる場合は貼付け位置が異なる。

- ④ 第 3 章で構築した熱源サブシステムは 1 系統のみであったが、全体システムでは 3 系統作成する必要がある。対象システムではいずれの系統も同じシステム構成であるため、先ほどコピーしたものを、B91～O140 セルと B145～O194 セルにも貼り付ける。さらに、各系統の「直だき吸収冷温水機」オブジェクトの制御部にある、「運転順位」を第 1 系統から第 3 系統まで順に、「1」、「2」、「3」と変更する。

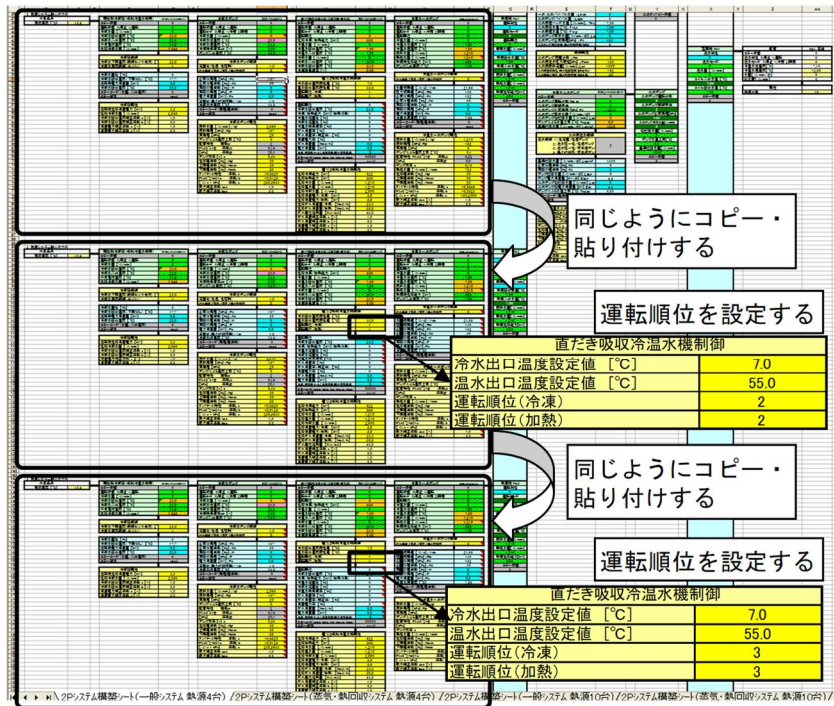


図 5.7 熱源システムの複製と運転順位の設定

⑤ 熱源台数制御コントローラオブジェクトの制御部及び属性部を必要に応じて変更する。

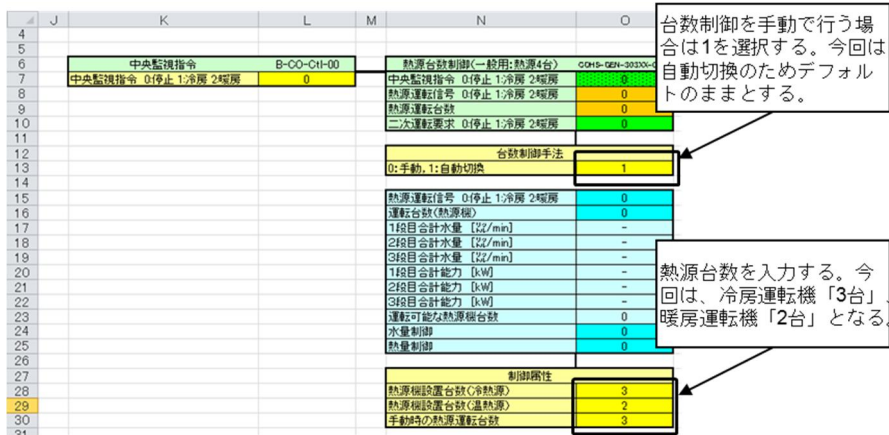


図 5.8 熱源台数制御コントローラの設定

⑥ 次に、第 4 章で作成した「二次側サブシステム.xls」ファイルを開き、「配管」～「室負荷」(E15～AD176)の部分を選択・コピーする。ここで、左側の境界条件部分はコピーしないこと、また空調機の上方にある境界条件セルが入るように選択すること、の 2 点に注意する。

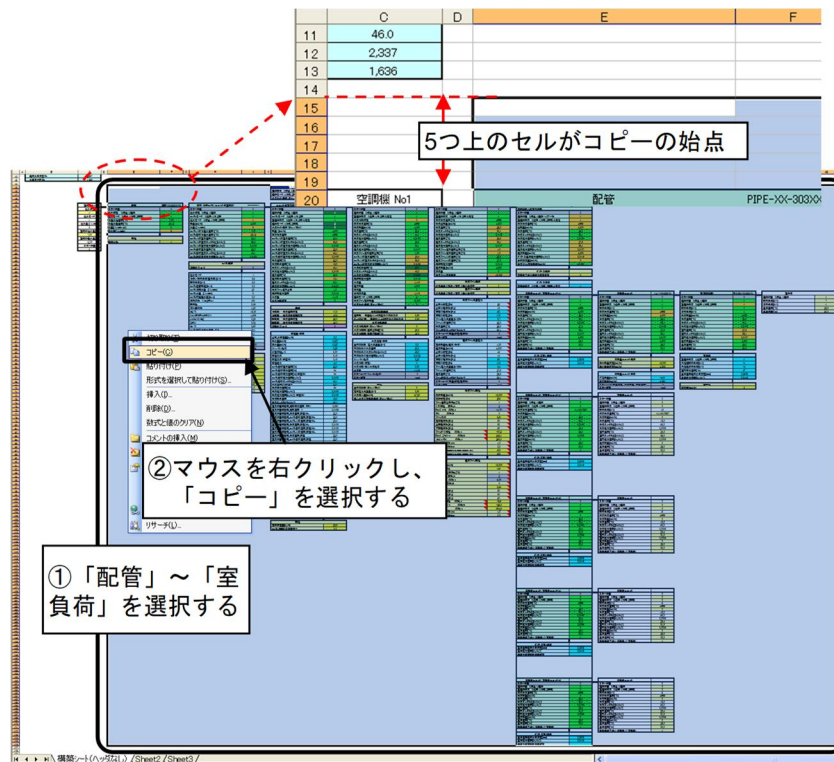


図 5.9 二次側サブシステムのコピー

- ⑦ コピーしたものを、構築シート(複式ポンプ方式)上で、「配管」オブジェクトの位置が合致するように、「配管」オブジェクト名称の 5 つ上のセルを選択し、貼り付ける(Z39~AY200)。作成済みの二次側サブシステムは基準階一階分のみであったため、10 階建ての二次側システムとするために、「配管」オブジェクトの属性部の「接続台数」(AA54)を「10」とする。

貼り付けが完了したら、「二次側サブシステム.xls」ファイルは閉じておく。

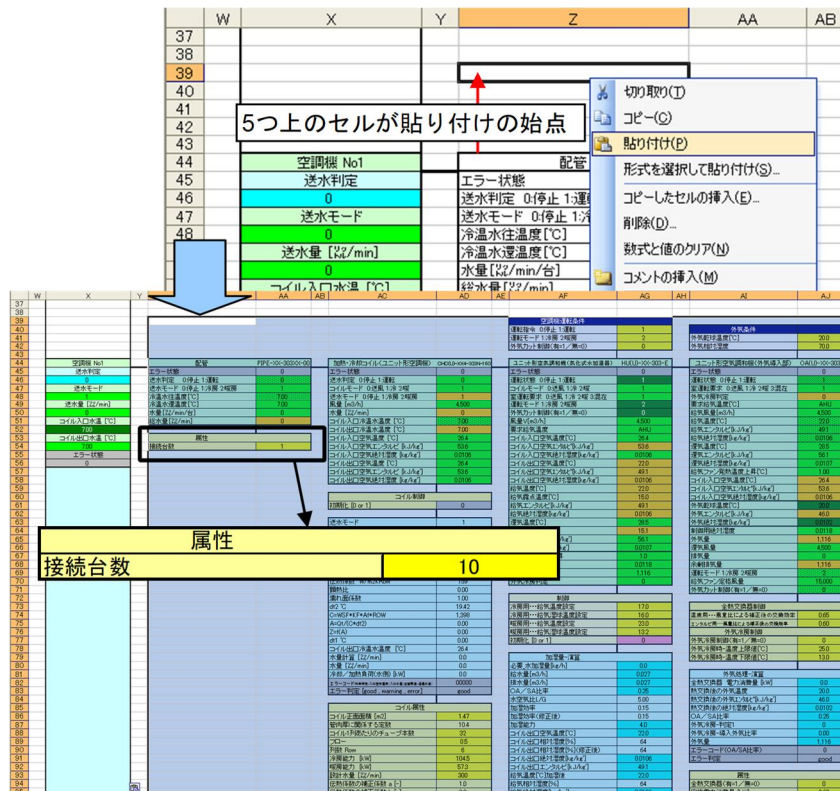


図 5.10 二次側サブシステムの貼り付けと配管接続数の変更

⑧ 下のフォルダにある、「冷温水二次ポンプ」オブジェクトのファイルを開く。

「LCEM ツール」フォルダ

→「オブジェクト」フォルダ

→「03_ポンプ」フォルダ

→「冷温水二次ポンプ_PCH2-XX-303SI_Ver320.xls」ファイル

⑨ タブで「冷温水二次ポンプ属性部変更用シート」を選択する。冷温水二次ポンプオブジェクトの属性部に、機器表を参照して「定格水量」と「定格揚程」を、メーカー資料を参照して「周波数」を入力する。

記号	名称	仕様	相・電圧 (φ-V)	動力 (kW)
PCHS-1 ~ 8	冷温水 2 次ポンプ	片吸込渦巻キポンプ 605 ㎥/min×176kPa	3-200	3.7

冷温水二次ポンプ属性		
定格周波数・揚程点の水量 [ℓ/min/台]: Lsp,r	605	
定格揚程 [kPa]: Psp,r	176	
実揚程 (制御4:ハイアス揚程を加算) [kPa]: Pb	0	
ポンプ効率 [-] e	0.59	
定格周波数 [Hz]: Nsp,r	50	
上限周波数 [Hz]: Nmax	50	
下限周波数 [Hz]: Nmin	20	
ポンプ P-Q 特性	係数: a	-0.2738
P=aQ ² +bQ+c	係数: b	-1.2622
(ℓ/s - kPa)	係数: c	332.0716
動力補正係数 aec		1.0
動力補正係数 bec		0.0

・実際の機器に合わせる
・今回はそのまま

図 5.11 冷温水二次ポンプの属性部の入力

- ⑩ 「冷温水二次ポンプ属性部変更用シート」の機器オブジェクトの下にある「二次ポンプ属性入力支援シート」表の、黄色のセル群に、機器表を参照してポンプの「モーター出力」を、メーカー資料を参照して「P-Q 特性図の代表点(5点)」を、単位に注意して(1kPa=9.8m)、それぞれ入力する。

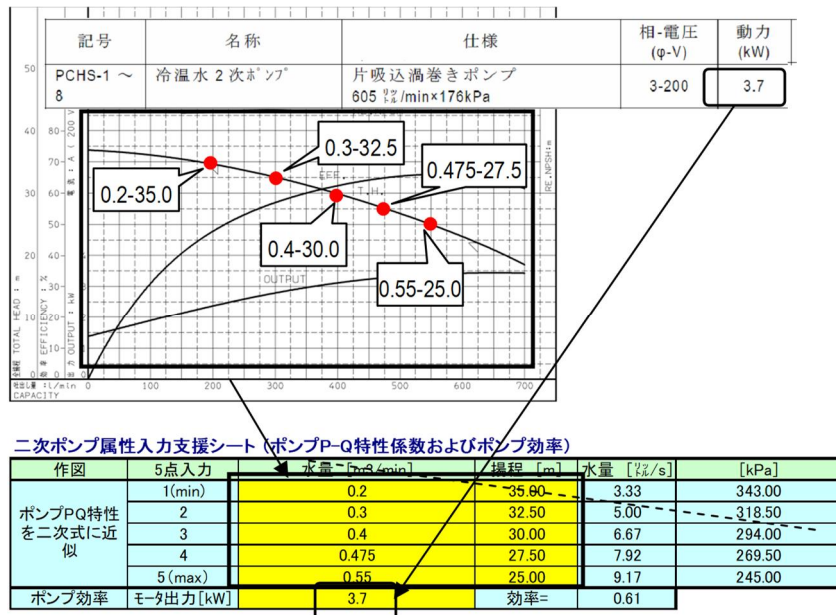


図 5.12 冷温水二次ポンプ属性部作成のための P-Q 特性点の入力

- ⑪ 「冷温水二次ポンプ属性部変更用シート」の右上部のピンク色の部分 (M45~M51) の値を、冷却水ポンプオブジェクトの属性部の G45~G51 のセルに、「形式を選択」、「テキストのみ保持」して貼り付ける。

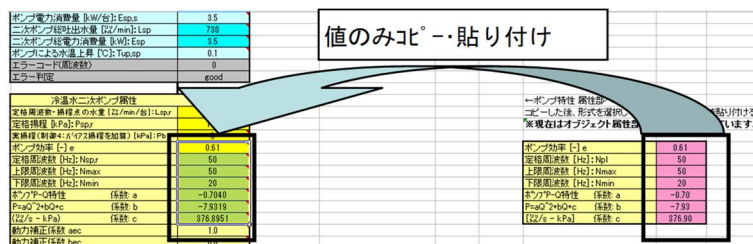
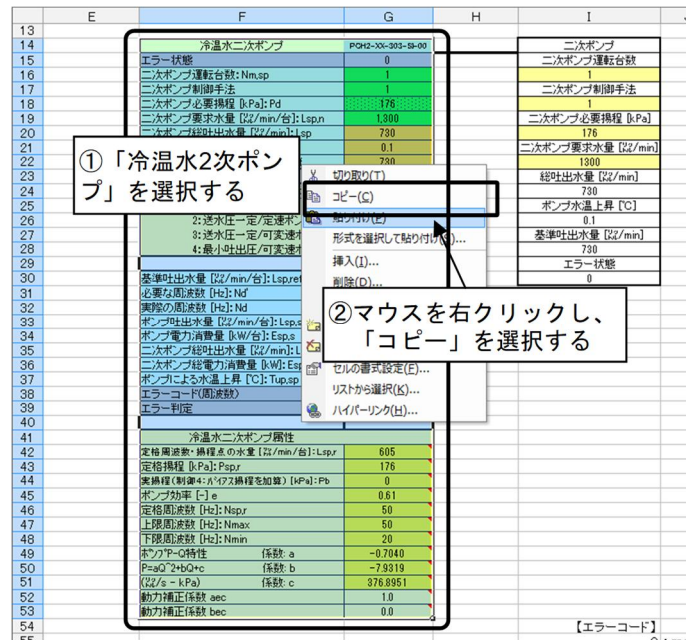


図 5.13 冷温水二次ポンプ属性部の数値を「値のみ」貼り付け

⑫ 「冷温水二次ポンプ」オブジェクト(F14～F53)を選択・コピーし、「構築シート(複式ポンプ方式)」上の冷温水二次ポンプに重なるように貼り付ける(H20～L60)。



制御属性	
二次ポンプ設置台数 : Nm	6
二次側送水圧力設定[kPa] : Pset	176
二次側設計流量[L/min] : Ls,r	3630

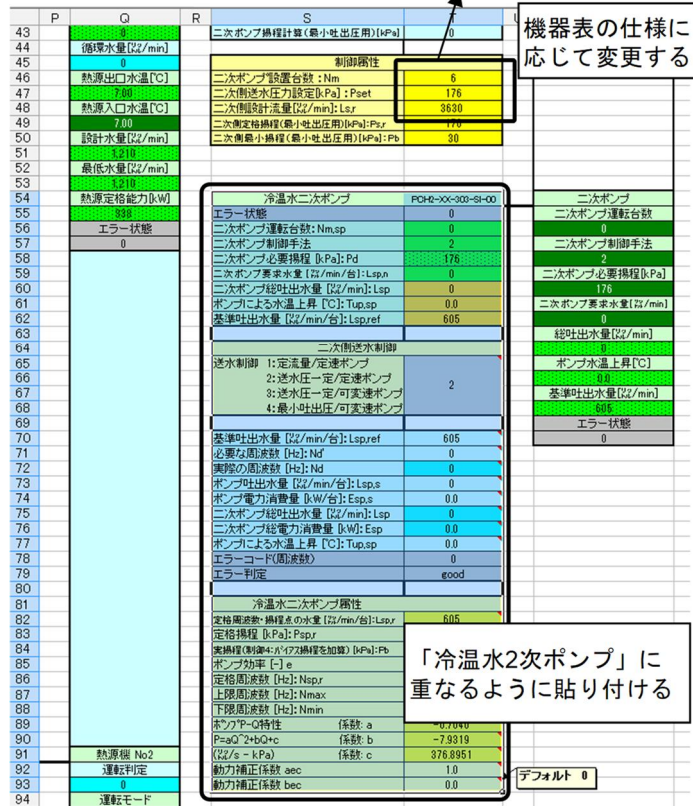


図 5.14 冷温水二次ポンプオブジェクトの構築シートへの貼り付け

以上で全体システムが完成した。

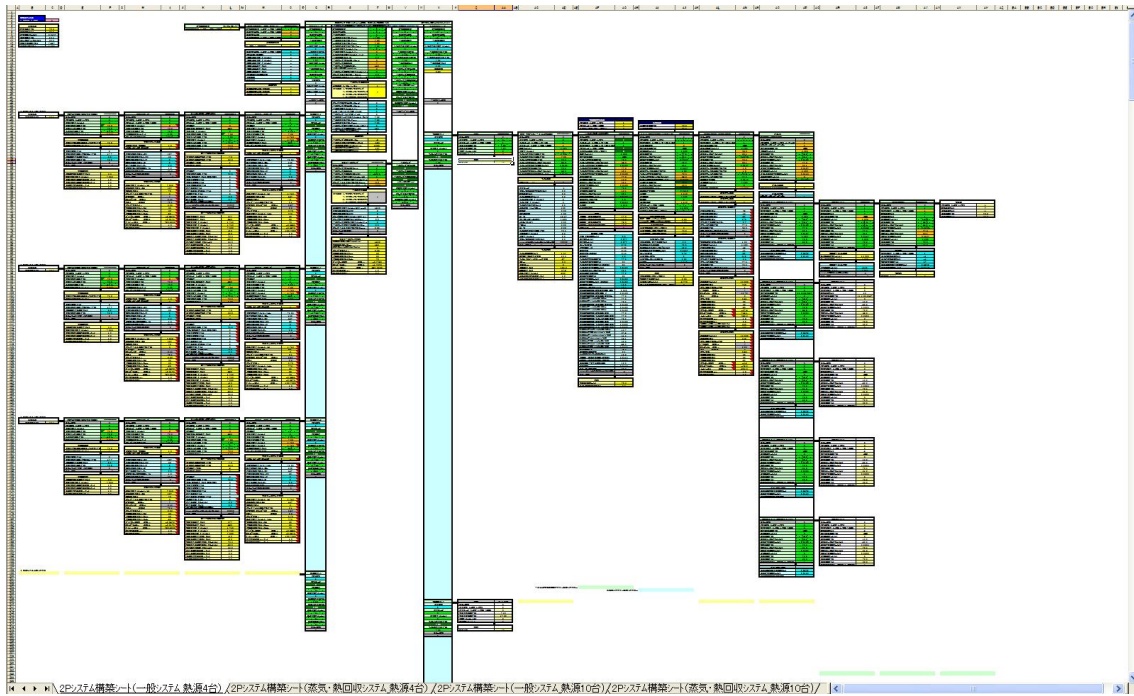


図 5.15 全体システムの完成

5.4 全体システムの年間計算の実行

5.4.1 期間計算用構築シートの作成

- ① 期間計算を行うためには、以下のフォルダにある期間計算用構築シートを利用する必要がある。以下のフォルダにある、「期間計算用構築シート_複式ポンプ方式(一般システム用:熱源4台)」ファイルを開き、デスクトップ上に「全体システム(期間).xls」の名前で保存する。

「LCEM ツール」フォルダ

→「システム構築シート」フォルダ

→「期間計算用構築シート」フォルダ

→「期間計算用構築シート_複式ポンプ方式(一般システム用:熱源4台)_Ver320.xls」ファイル

ここでは、先ほど作成した標準構築シートの「全体システム.xls」を開き、以下の3つの部分に分けてコピーし、期間計算用構築シート上に貼り付ける。最初から、標準構築シートを用いずに、期間計算用構築シートで作り始めてもよい。

- 熱源サブシステム: 標準構築シート B37～O194⇒期間計算用構築シート G37～
- 冷温水二次ポンプ: 標準構築シート S54～T93⇒期間計算用構築シート X54～
- 二次側サブシステム: 標準構築シート Z39～AY200 期間計算用構築シート AE39～

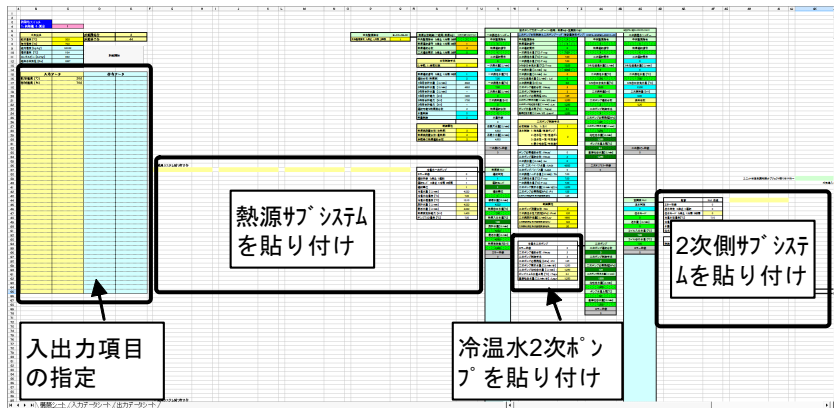


図 5.16 標準構築シートから期間計算用構築シートへのコピー

- ② 「全体システム.xls」ファイルを開き、熱源サブシステム(「外気」～「冷温水一次ポンプ」)×3 系統)の部分(B37～O194)を選択・コピーし、「全体システム(期間).xls」上での該当箇所に重なるように貼り付ける(G37～T194)。

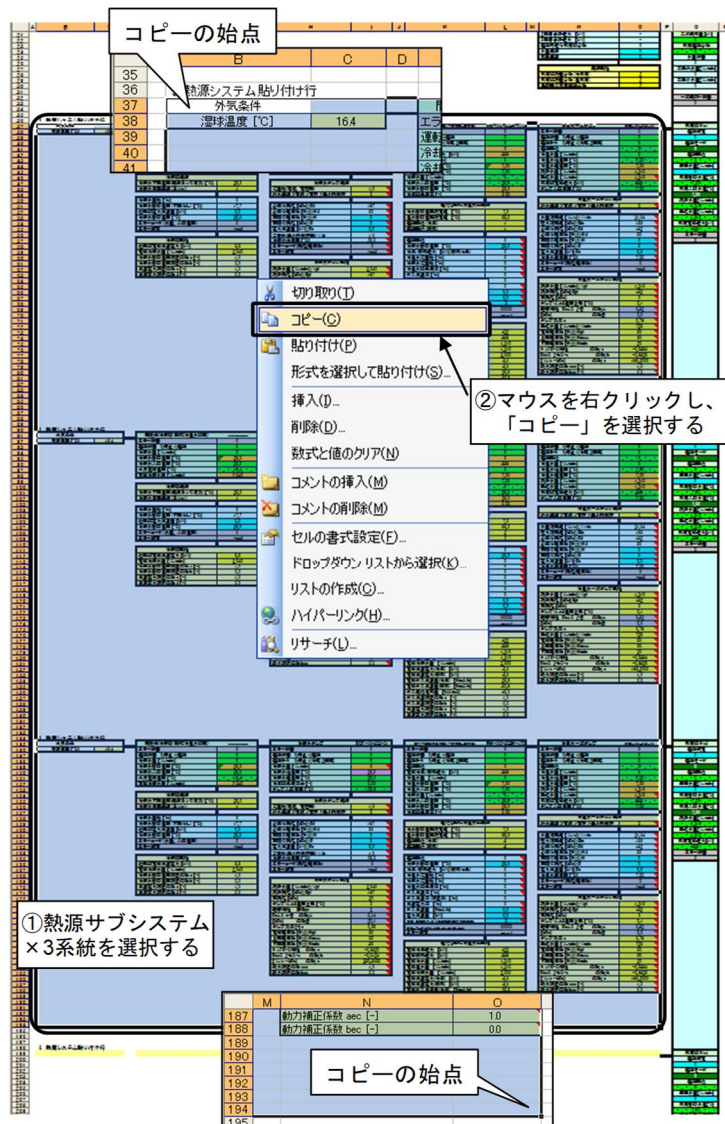
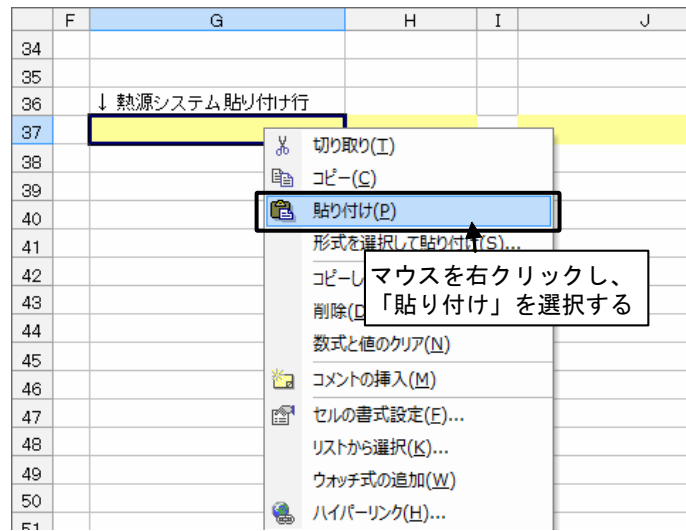


図 5.17 熱源サブシステムのコピー



↳ 貼り付け後

F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
34																		
35																		
36																		
37																		
38																		
39																		
40																		
41																		
42																		
43																		
44																		
45																		
46																		
47																		
48																		
49																		
50																		
51																		

図 5.18 熱源サブシステムの貼り付け

- ③ 同様に、「全体システム.xls」の「冷温水二次ポンプ」オブジェクト部分 (S54～T93) を選択・コピーし「全体システム(期間).xls」上の同オブジェクトに重なるように貼り付ける (X54～Y93)。
- ④ さらに、「全体システム.xls」の二次側サブシステム部分 (Z44～AY200) を選択・コピーし「全体システム(期間).xls」上での該当箇所にも重なるように貼り付ける (AE39～BD200)。
- ⑤ 冷温水 2 次ポンプの制御属性を変更する (T46～T48)。

	R	S	T	U
53				
54		冷温水二次ポンプ	PCH2-XX-303-SI-00	二次
55		エラー状態	0	二次ポン
56		二次ポンプ運転台数: Nm.sp	0	
57		二次ポンプ制御手法	2	二次ポン
58		二次ポンプ必要揚程 [kPa]: Pd	176	
59		二次ポンプ要求水量 [%/min/台]: Lsp.n	0	二次ポン
60		二次ポンプ総吐出水量 [%/min]: Lsp	0	1
61		ポンプによる水温上昇 [°C]: Tup.sp	0.0	二次ポン
62		基準吐出水量 [%/min/台]: Lsp.ref	605	
63				総吐出水
64		二次側送水制御		
65		送水制御 1: 定流量/定速ポンプ		ポンプ
66		2: 送水圧一定/定速ポンプ	2	
67		3: 送水圧一定/可変速ポンプ		基準吐出水
68		4: 最小吐出圧/可変速ポンプ		
69				エラー
70		基準吐出水量 [%/min/台]: Lsp.ref	605	
71		必要な周波数 [Hz]: Nd'	0	
72		実際の周波数 [Hz]: Nd		
73		ポンプ吐出水量 [%/min/台]: Lsp.s		
74		ポンプ電力消費量 [kW/台]: Esp.s		
75		二次ポンプ総吐出水量 [%/min]: Lsp		
76		二次ポンプ総電力消費量 [kW]: Esp		
77		ポンプによる水温上昇 [°C]: Tup.sp		
78		エラーコード(周波数)		
79		エラー判定		
80				
81		ポンプ属性		
82		設計水量 [%/min/台]: Lsp.d		
83		必要揚程(制御中ノイズ抑除を加算) [kPa]: Pb		
84		実揚程(制御中ノイズ抑除を加算) [kPa]: P		
85		ポンプ効率 [-] e		
86		定格周波数 [Hz]: Nspr		
87		上限周波数 [Hz]: Nmax		
88		下限周波数 [Hz]: Nmin		
89		ポンプP-Q特性 係数 a		
90		$P=aQ^2+bQ+c$ 係数 b		
91		$(\%/s - kPa)$ 係数 c		
92		動力補正係数 aec	1.0	
93		動力補正係数 bec	0.0	
94				

①冷温水二次ポンプ
を選択する

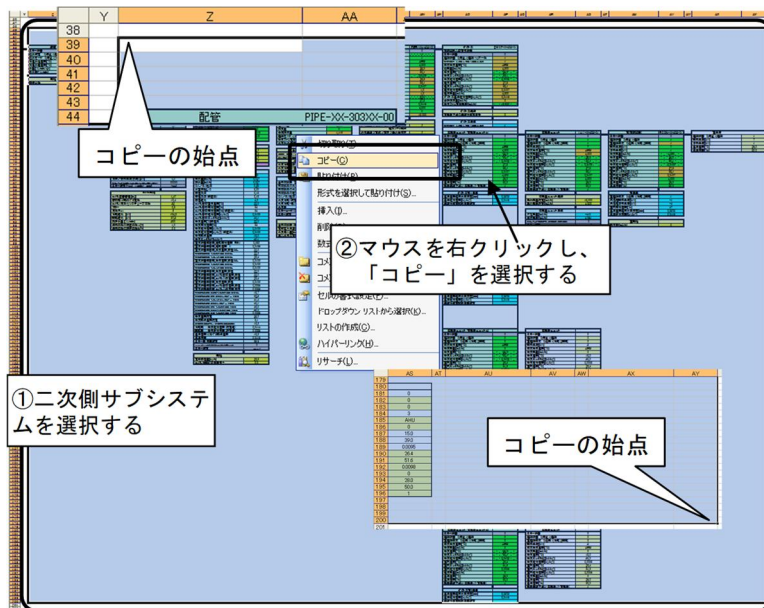
②マウスを右クリックし、
「コピー」を選択する



	W	X	Y	Z
53				
54		冷温水二次ポンプ		
55		エラー状態		二次
56		二次ポンプ運転台数		
57		二次ポンプ制御手法		二次
58		二次ポンプ必要揚程		
45	1.210	制御属性		
46	熱源出口水温 [°C]	二次ポンプ設置台数: Nm	6	
47	7.00	二次側送水圧力設定 [kPa]: Pset	176	
48	熱源入口水温 [°C]	二次側設計流量 [%/min]: Lsr	3630	
49	0.90	二次側定速揚程(最小吐出圧) [kPa]: Pst		
50	設計水量 [%/min]	二次側最小揚程(最小吐出圧) [kPa]: Pst		
51	1.210			
52	最低水量 [%/min]			
53	1.210			
54	熱源定格能力 [kW]	冷温水二次ポンプ	PCH2-XX-303-SI-00	二次ポン
55	422	エラー状態	0	二次ポン
56	エラー状態	二次ポンプ運転台数: Nm.sp	6	二次ポン
57	0	二次ポンプ制御手法	2	二次ポン
58		二次ポンプ必要揚程 [kPa]: Pd	176	
59		二次ポンプ要求水量 [%/min/台]: Lsp.n	730	二次ポン
60		二次ポンプ総吐出水量 [%/min]: Lsp	4383	176
61		ポンプによる水温上昇 [°C]: Tup.sp	0.1	二次ポン
62		基準吐出水量 [%/min/台]: Lsp.ref	730	730
63				総吐出水量 [%/min]
64				4383
65		送水制御 1: 定流量/定速ポンプ		ポンプ
66		2: 送水圧一定/定速ポン	2	水温上昇 [°C]
67		3: 送水圧一定/可変速		基準吐出水量 [%/min]
68		4: 最小吐出圧/可変速		730
69				エラー
70		基準吐出水量 [%/min/台]: Lsp.ref	730	0
71		必要な周波数 [Hz]: Nd'	50	

値を変更する

図 5.19 冷温水二次ポンプのコピーと貼り付け



⇩ 貼り付け後

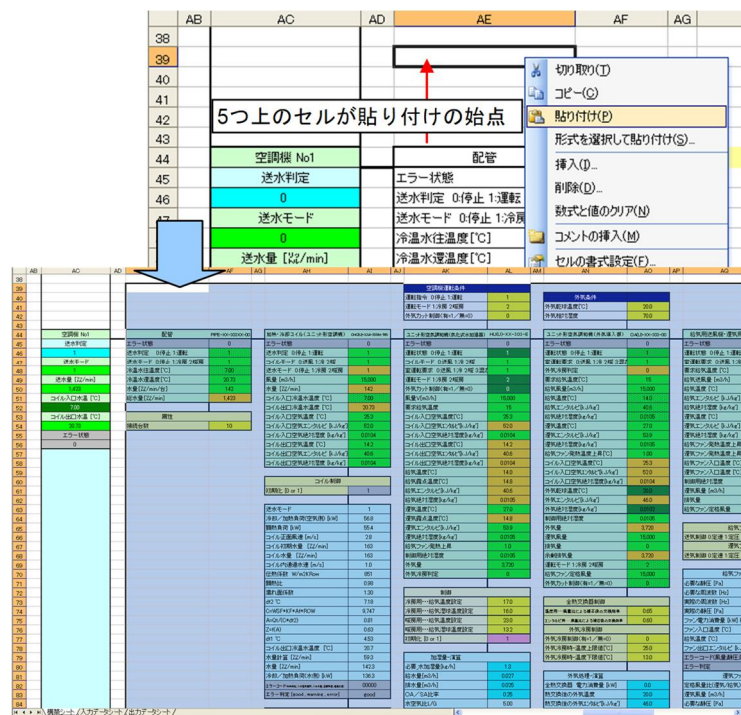


図 5.20 二次側サブシステムのコピーと貼り付け

以上で、全体システムの期間計算用構築シートへの移行が完了した。

5.4.2 入力/出力データシートの作成と計算の実行

- ① 以下の図のように、入力データと出力データを設定する。入力データの最初の 2 つは「乾球温度[℃]」と「相対湿度[%]」がデフォルトで設定されている。

	B	C	D	E
14				
15	入力データ		出力データ	
16	乾球温度 [℃]	20.0	【直だし吸収冷温水機1】	
17	相対湿度 [%]	70.0	ガス消費量[Nm3/h]	
18	運転判定[-]		電力消費量[kw]	
19	運転モード[-]		冷却塔電力消費量[kw]	
20	室内顕熱負荷[kw]		冷却水P電力消費量[kw]	
21	室内潜熱負荷[kw]		冷温水P電力消費量[kw]	
22	室内基準温度[℃]		【直だし吸収冷温水機2】	
23	室内基準湿度[%]		ガス消費量[Nm3/h]	
24			電力消費量[kw]	
25			冷却塔電力消費量[kw]	
26			冷却水P電力消費量[kw]	
27			冷温水P電力消費量[kw]	
28			【直だし吸収冷温水機3】	
29			ガス消費量[Nm3/h]	
30			電力消費量[kw]	
31			冷却塔電力消費量[kw]	
32			冷却水P電力消費量[kw]	
33			冷温水P電力消費量[kw]	
34			【冷温水二次ポンプ】	
35			電力消費量[kw]	
36			【給気用送風機】	
37			電力消費量[kw]	
38			【還気用送風機】	
39			電力消費量[kw]	
40			【室内】	
41			室温[℃]	
42			【その他】	
43			1次側エラー状態	
44			2次側エラー状態	

図 5.21 入力データと出力データの項目名を設定

② 入力データを利用したいセルに、リンクを設定する。

「Q7」セルの中央監視指令と「C19」をリンクする。

(「Q7」セルに「=C19」と入力)

「AL40」セルの運転指令と「C18」をリンクする。

(「AL40」セルに「=C18」と入力)

「AL41」セルの運転モードと「C19」をリンクする。

(「AL41」セルに「=C19」と入力)

「BD69」セルの運転状態と「C18」をリンクする。

(「BD69」セルに「=C18」と入力)

「BD70」セルの顕熱負荷と「C20」をリンクする。

(「BD70」セルに「=C20」と入力)

「BD71」セルの潜熱負荷と「C21」をリンクする。

(「BD71」セルに「=C21」と入力)

「BD72」セルの基準温度と「C22」をリンクする。

(「BD72」セルに「=C22」と入力)

「BD73」セルの基準湿度と「C23」をリンクする。

(「BD73」セルに「=C23」と入力)

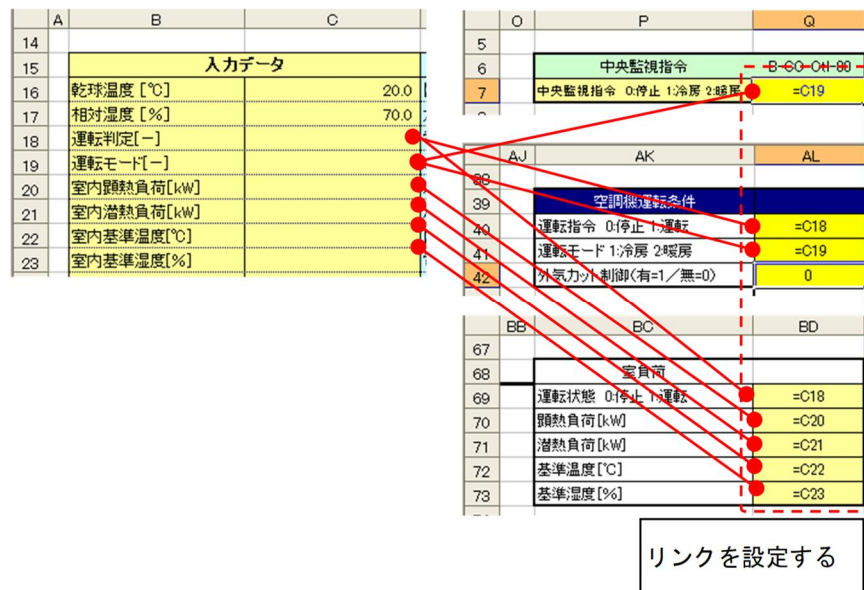


図 5.22 入力データのリンク設定

③ 出力データセル(E列16行～)に、出力したい任意のセル番号をリンクする。

「E17」のセルと「Q66」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q66」と入力)
「E18」のセルと「Q67」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q67」と入力)
「E19」のセルと「K52」をリンクする。	(「E18」セルに「=K52」と入力)
「E20」のセルと「N55」をリンクする。	(「E19」セルに「=N55」と入力)
「E21」のセルと「T59」をリンクする。	(「E20」セルに「=T59」と入力)
「E23」のセルと「Q120」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q120」と入力)
「E24」のセルと「Q121」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q121」と入力)
「E25」のセルと「K106」をリンクする。	(「E18」セルに「=K106」と入力)
「E26」のセルと「N109」をリンクする。	(「E19」セルに「=N109」と入力)
「E27」のセルと「T113」をリンクする。	(「E20」セルに「=T113」と入力)
「E29」のセルと「Q174」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q174」と入力)
「E30」のセルと「Q175」をリンクする。	(「E17」セルに「=Q175」と入力)
「E31」のセルと「K160」をリンクする。	(「E18」セルに「=K160」と入力)
「E32」のセルと「N163」をリンクする。	(「E19」セルに「=N163」と入力)
「E33」のセルと「T167」をリンクする。	(「E20」セルに「=T167」と入力)
「E35」のセルと「Y76」をリンクする。	(「E20」セルに「=Y76」と入力)
「E37」のセルと「AR75」をリンクする。	(「E20」セルに「=AR75」と入力)
「E39」のセルと「AR88」をリンクする。	(「E20」セルに「=AR88」と入力)
「E41」のセルと「BA78」をリンクする。	(「E20」セルに「=BA78」と入力)
「E43」のセルと「V33」をリンクする。	(「E20」セルに「=V33」と入力)
「E44」のセルと「AC33」をリンクする。	(「E20」セルに「=AC33」と入力)

「E16」「E22」「E28」「E34」「E38」「E40」「E42」は単なるコメントなので、リンク設定は必要ないが、空白にはせず「-」などの文字を入れておく。

D		E		O	P	Q	
15	出力データ			64	ガス消費率(補正後) [%]	37	
16	【直だき吸収冷温水機1】	-		65	消費電力率 [%]	94	
17	ガス消費量[Nm3/h]	=Q66		66	ガス消費量 [Nm3/h]	9.5	
18	電力消費量[kW]	=Q67		67	電力消費量 [kW]	3.7	
19	冷却塔電力消費量[kW]	=K52		68	冷凍・加熱出力/ガス消費熱量(高位発熱基準)	1.47	
20	冷却水P電力消費量[kW]	=N55					
21	冷温水P電力消費量[kW]	=T59					
22	【直だき吸収冷温水機2】	-					
23	ガス消費量[Nm3/h]	=Q120		49			
24	電力消費量[kW]	=Q121		50	冷却水量比 [%]	100	
25	冷却塔電力消費量[kW]	=K106		51	冷却水出口温度(下限値) [°C]	16.4	
26	冷却水P電力消費量[kW]	=N109		52	送風機電力消費量 [kW]	1.4	
27	冷温水P電力消費量[kW]	=T113		53	冷却水出口温度 [°C]	25.0	
28	【直だき吸収冷温水機3】	-		54	エラーコード(水量, 入口温度)	0	
29	ガス消費量[Nm3/h]	=Q174		55	エラー判定	good	
30	電力消費量[kW]	=Q175					
31	冷却塔電力消費量[kW]	=K160		L	M	N	
32	冷却水P電力消費量[kW]	=N163		52	必要な周波数 [Hz]: Nd	50	
33	冷温水P電力消費量[kW]	=T167		53	実際の周波数 [Hz]: N	50	
34	【冷温水二次ポンプ】	-		54	実際の揚程 [kPa]: P	193	
35	電力消費量[kW]	=Y76		55	電力消費量 [kW]: Pe	10.1	
36	【給気用送風機】	-					
37	電力消費量[kW]	=AR75		R	S	T	
38	【還気用送風機】	-		56	必要な周波数 [Hz]: Nd	50	
39	電力消費量[kW]	=AR88		57	実際の周波数 [Hz]: N	50	
40	【室内】	-		58	実際の揚程 [kPa]: P	160	
41	室温[°C]	=BA78		59	電力消費量 [kW]: Pe	4.1	
42	【その他】	-		60	冷却水温度 [°C]	9.06	
43	1次側エラー状態	=V33					
44	2次側エラー状態	=AC33		W	X	Y	
				73	ポンプ吐出水量 [m³/min/台]: Lsp.s	730	
				74	ポンプ電力消費量 [kW/台]: Esp.s	3.5	
				75	二次ポンプ総吐出水量 [m³/min]: Lsp	4.383	
				76	二次ポンプ総電力消費量 [kW]: Esp	21.2	
				AP	AQ	AR	
				73	実際の周波数 [Hz]	0	
				74	実際の静圧 [Pa]	0	
				75	ファン電力消費量 [kW] Pe	0.0	
				76	ファン入口温度 [°C]	15.0	
				AP	AQ	AR	
				86	実際の周波数 [Hz]	45	
				87	実際の静圧 [Pa]	140	
				88	ファン電力消費量 [kW] Pe	1.7	
				89	ファン入口温度 [°C]	26.0	
				AY	AZ	BA	BI
				77	給気絶対湿度 [kg/kg]	0.0101	
				78	室内温度 [°C]	28.0	
				79	室内エンタルピー [kJ/kg]	58.3	
				80	室内絶対湿度 [kg/kg]	0.0118	

U	V	W
31		
32	一次側エラー状態	
33	0	

AB	AC	D
31		
32	二次側エラー状態	
33	0	

図 5.23 出力データのリンク設定

- ④ 以下のフォルダにある「標準熱負荷モード_Ver303」のファイルを開く。

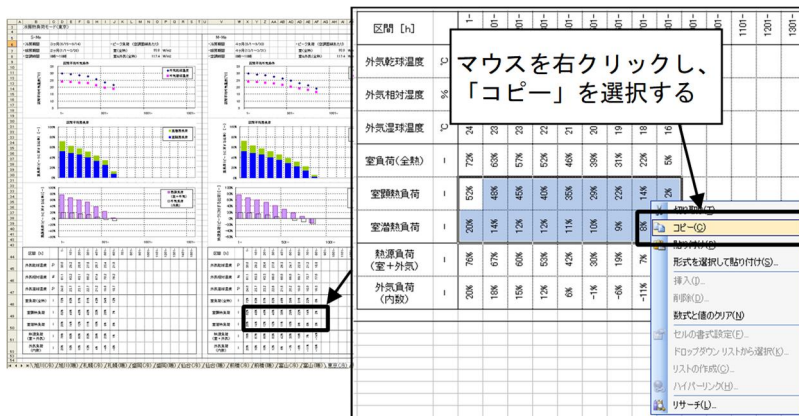
「LCEM ツール」フォルダ

→「境界条件」フォルダ

→「標準熱負荷モード_Ver303.xls」ファイル

- ⑤ まず冷房時の入力データを作成する。「標準熱負荷モード_Ver303.xls」ファイルのタブから、「東京(冷)」シートを選択する。3種類のグラフがあるが、ここではU～AN列のM・Me熱負荷モードを用いる。以下の図のように外気乾球温度と外気相対湿度の該当データ(X45～AF46)を選択・コピーする。次に、貼り付け先である「期間計算用構築シート」ファイルの「入力データシート」D2セルを選択し、マウスを右クリックする。「貼り付けのオプション」から「形式を選択して貼り付け」をクリックし、貼り付けは「値」、演算は「しない」、さらに「行列を入れ替える」のボックスにチェックを入れて、OKをクリックする。

- ⑥ 「入力データシート」の使用しない列(K~M 列)の先頭行に「室顕熱負荷率」「室潜熱負荷率」「室負荷(全熱)」と入力する。再び「標準熱負荷モード_Ver303.xls」の「東京(冷)」シート上で、「室顕熱負荷」と「室潜熱負荷」を選択・コピーし、「入力データシート」の「室顕熱負荷率」「室潜熱負荷率」の列に、「値」のみを、「行列を入れ替え」て貼り付ける。



「期間計算用構築シート」に貼り付ける。

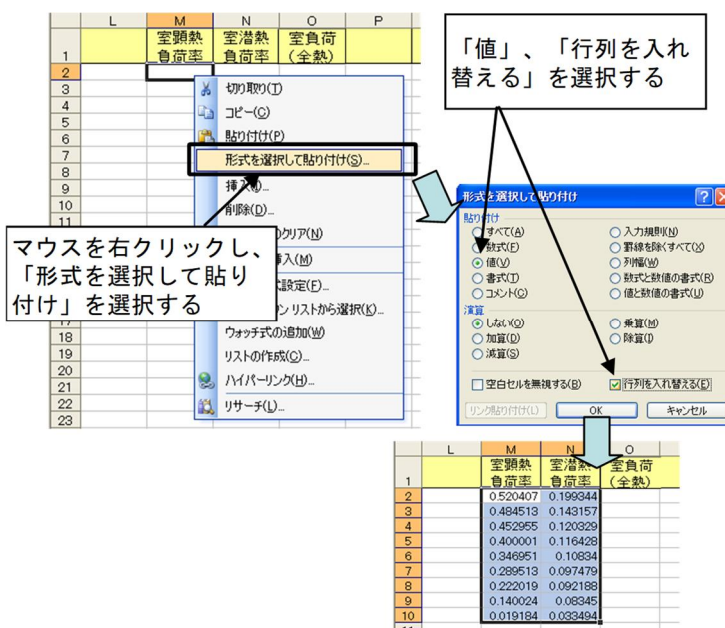


図 5.25 顕熱負荷と潜熱負荷の入力データシートへの貼り付け

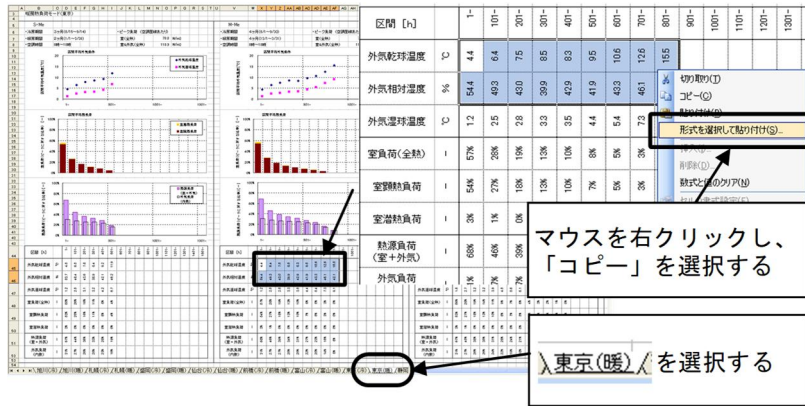
- ⑦ 「入力データシート」の「運転判定[-]」と「運転モード[-]」の列にはすべて「1」を、「室内基準温度」の列にはすべて「28」を、「室内基準湿度」の列にはすべて「50」を入力する。さらに、「室負荷(全熱)」の列に室負荷(全熱)の最大熱負荷計算結果(60kW)を入力する。「室顕熱負荷」の列には「室負荷(全熱)」と「室顕熱負荷率」との積を算出する式を、「室潜熱負荷」の列には「室負荷(全熱)」と「室潜熱負荷率」との積を算出する式を、それぞれ入力する(図参照)。

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]	運転判定 [-]	運転モード [-]	室内顕熱負荷	室内潜熱負荷	室内基準温度	室内基準湿度		室顕熱負荷率	室潜熱負荷率	室負荷(全熱)
2	29.95	61.11288	1	1	=M2*O2	=N2*O2	28	50		0.520407	0.199344	60
3	29.173	63.30518	1	1			28	50		0.484513	0.143157	60
4	28.624	63.29372	1	1			28	50		0.452955	0.120329	60
5	27.451	65.99398	1	1			28	50		0.400001	0.116428	60
6	26.324	65.46488	1	1			28	50		0.346951	0.10634	60
7	24.691	66.48959	1	1			28	50		0.289513	0.097479	60
8	22.915	69.73512	1	1			28	50		0.222019	0.092188	60
9	21.239	73.71129	1	1			28	50		0.140024	0.08345	60
10	18.83684	77.49426	1	1			28	50		0.019184	0.033494	60

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]	運転判定 [-]	運転モード [-]	室内顕熱負荷	室内潜熱負荷	室内基準温度	室内基準湿度		室顕熱負荷率	室潜熱負荷率	室負荷(全熱)
2	29.95	61.11288	1	1	31.2244	11.96061	28	50		0.520407	0.199344	60
3	29.173	63.30518	1	1	29.07078	8.589421	28	50		0.484513	0.143157	60
4	28.624	63.29372	1	1	27.17732	7.219713	28	50		0.452955	0.120329	60
5	27.451	65.99398	1	1	24.00004	6.985682	28	50		0.400001	0.116428	60
6	26.324	65.46488	1	1	20.81706	6.500416	28	50		0.346951	0.10634	60
7	24.691	66.48959	1	1	17.37076	5.848746	28	50		0.289513	0.097479	60
8	22.915	69.73512	1	1	13.32114	5.531278	28	50		0.222019	0.092188	60
9	21.239	73.71129	1	1	8.401435	5.006979	28	50		0.140024	0.08345	60
10	18.83684	77.49426	1	1	1.151057	2.009625	28	50		0.019184	0.033494	60

図 5.26 入力データシート上での顕熱負荷と潜熱負荷の設定

- ⑧ 続いて、暖房時の入力データを作成する。「標準熱負荷モード_Ver303.xls」ファイルで、「東京(暖)シート」を選択する。ここで、外気乾球温度と外気相対湿度(X45～AF52)を選択・コピーし、「期間計算用構築シート」の「入力データシート」の夏期データに続けて(D11～)、「値」のみを、「行列を入れ替え」て貼り付ける。



□ 「期間計算用構築シート」に貼り付ける。

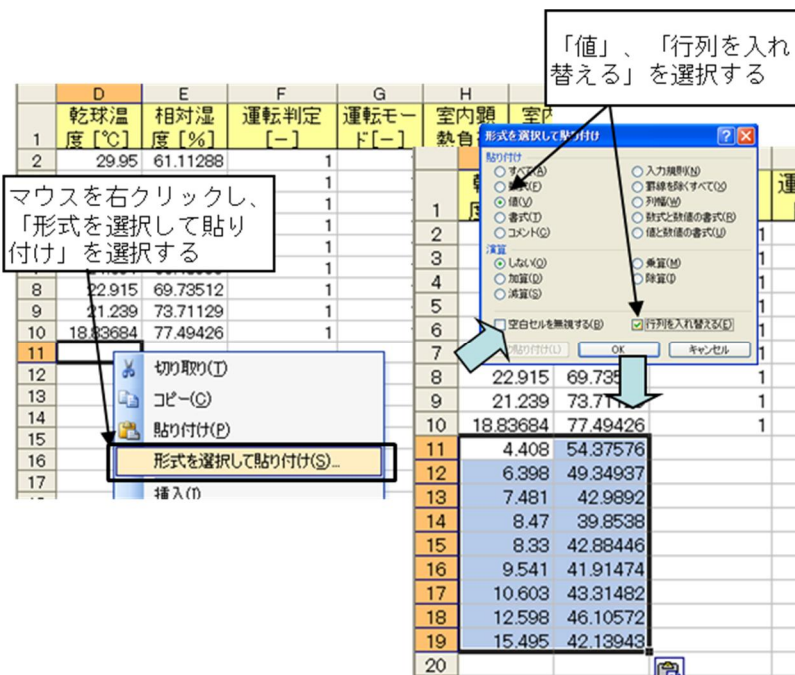
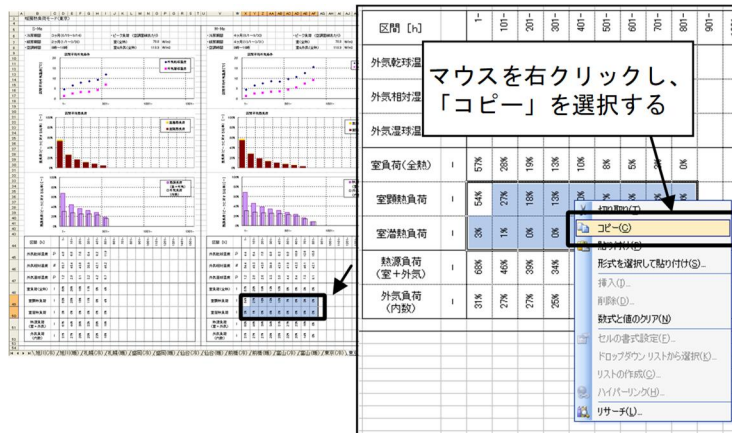


図 5.27 熱負荷モードの冬期乾球温度と相対湿度を入力データシートに貼り付け

- ⑨ 「標準熱負荷モード_Ver303.xls」の「東京(暖)」シートに戻り、「熱源負荷(室+外気)」を選択・コピーし、冷房時と同様に「入力データシート」の「熱源負荷率」の列に、「値」のみを「行列を入れ替え」て貼り付ける。



□ 「期間計算用構築シート」に貼り付ける。

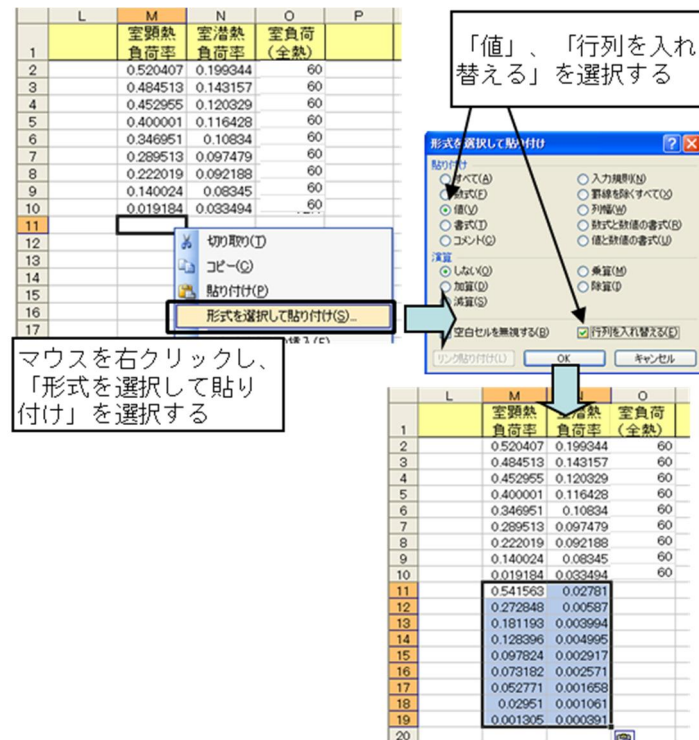


図 5.28 室顕熱負荷率と室潜熱負荷率の入力

⑩ 「運転判定」の列に「1」を、「運転モード」の列に「2」を、「室内基準温度」の列に「19」を、「室内基準湿度」の列に「40」を、また「室負荷(全熱)」の列に室負荷(全熱)の最大熱負荷計算結果(20kW)を入力する。

「室顕熱負荷」の列には「室負荷(全熱)」と「室顕熱負荷率」との積を求める式を、「室潜熱負荷」の列には「室負荷(全熱)」と「室潜熱負荷率」との積を求める式を、それぞれ入力する。

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]	運転判定 [-]	運転モード [-]	室内顕熱負荷 [kW]	室内潜熱負荷 [kW]	室内基準温度	室内基準湿度		室顕熱負荷率	室潜熱負荷率	室負荷(全熱)
1	29.95	61.11288	1	1	31.22439774	11.96061248	28	50		0.520407	0.199344	60
2	29.173	63.30518	1	1	29.07078043	8.589421039	28	50		0.484513	0.143157	60
3	28.624	63.29372	1	1	27.17732211	7.219712914	28	50		0.452955	0.120329	60
4	27.451	65.96398	1	1	24.00003581	6.96568234	28	50		0.400001	0.116428	60
5	26.324	65.46488	1	1	20.81705693	6.500416013	28	50		0.346951	0.10634	60
6	24.691	66.48959	1	1	17.37076252	5.848745508	28	50		0.289513	0.097479	60
7	22.915	69.73512	1	1	13.32114418	5.531277562	28	50		0.222019	0.092188	60
8	21.239	73.71129	1	1	8.401435014	5.006978516	28	50		0.140024	0.08345	60
9	18.83684	77.49426	1	1	1.151057105	2.009624506	28	50		0.019184	0.033494	60
10	4.408	54.37576	1	2	=-1*M12*O12	=-1*N11*O11	19	40		0.541563	0.02781	20
11	6.398	49.34937	1	2			19	40		0.272848	0.00587	20
12	7.481	42.9892	1	2			19	40		0.181193	0.003994	20
13	8.47	39.8538	1	2			19	40		0.128396	0.004995	20
14	8.33	42.88446	1	2			19	40		0.097824	0.002917	20
15	9.541	41.91474	1	2			19	40		0.073182	0.002571	20
16	10.603	43.31482	1	2			19	40		0.052771	0.001658	20
17	12.598	46.10572	1	2			19	40		0.02951	0.001061	20
18	15.495	42.13943	1	2			19	40		0.001305	0.000391	20
19												

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	乾球温度 [°C]	相対湿度 [%]	運転判定 [-]	運転モード [-]	室内顕熱負荷 [kW]	室内潜熱負荷 [kW]	室内基準温度	室内基準湿度		室顕熱負荷率	室潜熱負荷率	室負荷(全熱)
1	29.95	61.11288	1	1	31.22439774	11.96061248	28	50		0.520407	0.199344	60
2	29.173	63.30518	1	1	29.07078043	8.589421039	28	50		0.484513	0.143157	60
3	28.624	63.29372	1	1	27.17732211	7.219712914	28	50		0.452955	0.120329	60
4	27.451	65.96398	1	1	24.00003581	6.96568234	28	50		0.400001	0.116428	60
5	26.324	65.46488	1	1	20.81705693	6.500416013	28	50		0.346951	0.10634	60
6	24.691	66.48959	1	1	17.37076252	5.848745508	28	50		0.289513	0.097479	60
7	22.915	69.73512	1	1	13.32114418	5.531277562	28	50		0.222019	0.092188	60
8	21.239	73.71129	1	1	8.401435014	5.006978516	28	50		0.140024	0.08345	60
9	18.83684	77.49426	1	1	1.151057105	2.009624506	28	50		0.019184	0.033494	60
10	4.408	54.37576	1	2	=-5.456954607	=-0.556203615	19	40		0.541563	0.02781	20
11	6.398	49.34937	1	2	=-3.623856006	=-0.117401406	19	40		0.272848	0.00587	20
12	7.481	42.9892	1	2	=-2.567927263	=-0.079870155	19	40		0.181193	0.003994	20
13	8.47	39.8538	1	2	=-1.956483396	=-0.096897904	19	40		0.128396	0.004995	20
14	8.33	42.88446	1	2	=-1.463646121	=-0.058342387	19	40		0.097824	0.002917	20
15	9.541	41.91474	1	2	=-1.055419574	=-0.051428029	19	40		0.073182	0.002571	20
16	10.603	43.31482	1	2	=-0.590206351	=-0.033161756	19	40		0.052771	0.001658	20
17	12.598	46.10572	1	2	=-0.026104072	=-0.02122999	19	40		0.02951	0.001061	20
18	15.495	42.13943	1	2	0	=-0.007815875	19	40		0.001305	0.000391	20
19												

図 5.29 室内顕熱負荷と潜熱負荷の入力

⑪ 「構築シート」に、計算開始行と計算終了行を入力する。

計算開始行	2
計算終了行	19

図 5.30 計算開始行と計算終了行の設定

- ⑫ 「構築シート」の「計算開始ボタン」を押すと計算が開始し、計算結果は「出力データシート」に出力される。なお、熱負荷モードを使用した場合、計算結果を 100 倍したものが年間エネルギー量となる。

↓ここをクリックすると計算が開始される

初期化スイッチ 1:初期値 0:算出		0	計算開始	
外気条件			計算開始行	2
乾球温度 [°C]	0.0		計算終了行	19
相対湿度 [%]	0.0		現在計算中の行	
絶対湿度 [kg/kg]	0.0000		【計算状況の詳細】	表示
湿球温度 [°C]	(6.1)		計算中の日時	
エンタルピー [kJ/kg]	0.0		進捗率 (%)	
飽和水蒸気圧 [Pa]	611		計算回数	0.000000001
水蒸気分圧 [Pa]	0		収束判定	OK

↳ 計算結果 (出力データシート)

	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA		
	【直達吸 取冷温水 機】	ガス消費 量	電力消費 量[kW]	冷却電 力消費 量[kW]	冷却水P 電力消費 量[kW]	冷温水P 電力消費 量[kW]	【直達吸 取冷温水 機】	ガス消費 量	電力消費 量[kW]	冷却電 力消費 量[kW]	冷却水P 電力消費 量[kW]	冷温水P 電力消費 量[kW]	【直達吸 取冷温水 機】	ガス消費 量	電力消費 量[kW]	冷却電 力消費 量[kW]	冷却水P 電力消費 量[kW]	冷温水P 電力消費 量[kW]	【冷温水二 次ポンプ】	電力消費 量[kW]	【給気用送 風機】	電力消費 量[kW]	【送気用送 風機】	電力消費 量[kW]		
1	-	16.25773	3.777469	5.500193	10.10284	4.111952	-	16.25773	3.777469	5.500193	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.674308	-	0.546233	-	
2	-	14.2407	3.747113	5.500221	10.10284	4.111952	-	14.2407	3.747113	5.500221	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.691647	-	0.546343	-	
3	-	12.72876	3.724112	5.500501	10.10284	4.111952	-	12.72876	3.724112	5.500501	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.652439	-	0.546517	-	
4	-	22.78905	3.875296	5.500823	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.533562	-	0.519012	-	
5	-	18.35505	3.81401	5.498418	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.650301	-	0.483774	-	
6	-	14.16874	3.751857	5.320226	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.732806	-	0.431564	-	
7	-	11.48542	3.707003	4.165414	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
8	-	9.67879	3.638351	3.112366	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
9	-	4.419822	3.58064	1.536239	10.10284	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
10	-	9.385207	3.628839	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
11	-	7.088558	3.590762	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
12	-	6.143605	3.587738	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
13	-	5.432945	3.578793	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
14	-	4.969762	3.572929	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
15	-	4.132674	3.562329	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
16	-	3.163052	3.550952	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
17	-	1.478929	3.528725	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
18	-	0.109162	3.511382	0	0	4.111952	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-	
19	-																				3.529868	-	0.716556	-	0.424928	-

図 5.31 計算の開始と結果の確認

5.4.3 ケーススタディ

構築した全体システムのモデルを用いたケーススタディの例を示す。

A) 熱源機器の変更

- ① 「吸収冷温水機(二重効用・標準)_RH-XX2-310S_120-500_Ver310」ファイルを開き、「120」のシートを選択する。

冷温水ポンプ		二次吸収冷温水機(二重効用・標準) RH+XX2-310S-120		冷温水一次ポンプ	
エラー状態	0	エラー状態	0	エラー状態	0
運転状態 0:停止 1:運転		運転状態 0:停止 1:運転	1	運転状態 0:停止 1:運転	1
運転モード 0:停止 1:冷房 2:暖房		運転モード 0:停止 1:冷房 2:暖房	1	運転モード 0:停止 1:冷房 2:暖房	1
流量 [t/h]	2,000	運転モード	1	運転モード	1
冷温水温度 [°C]	32.0	定額冷房/加熱能力 [kW]	422	流量 [t/min]	1,210
冷温水速度 [°C]		冷温水量 [t/min]	1,210	冷温水温度 [°C]	
冷温水効率係数 [-]		冷温水出口温度 [°C]	7.00	冷温水速度 [°C]	12.00
ポンプ入口温度 [°C]		冷温水入口温度 [°C]	12.00	定額流量 [t/min]	
		冷温水量 [t/h]	2,000	熱効率 [t/min]	
		冷温水入口温度 [°C]	12.00	冷房能力 [kW]	
		冷温水出口温度 [°C]	37.4	ポンプ入口温度 [°C]	
		冷温水効率係数 [-]	1.00		
		二次吸収冷温水機特性			
		冷温水出口温度設定値 [°C]	7.0		
		冷温水出口温度設定値 [°C]	80.0		
		運転モード (冷房)	1		
		運転モード (加熱)	1		
		運転モード	1		
		冷温水出口温度 [°C]	37.4		
		冷房/加熱能力 [kW(加熱は負)]	421		
		冷温水流量比 [%]	100		
		冷温水流量比 [%]	100		
		冷温水流量比 [%]	100		
		冷房効率 [%]	100		
		冷房効率(補正後) [%]	100		
		消費電力 [%]	100		
		冷房消費電力 [kW]	30.9		
		電力消費量 [kW]	4.7		
		冷房/冷媒消費量 [kg/h]	1.09		
		エラーコード (標準:冷房・冷熱・冷熱)	00000		
		エラー判定	good		
		二次吸収冷温水機特性			
		定額冷房能力 [kW]	422		
		定額冷房能力 [kW]	340		
		定額冷房能力 [t/h]	1,210		
		定額冷房能力 [t/h]	1,210		
		定額冷房能力 [t/h]	2,000		
		定額冷房能力(冷房) [kW]	4.7		
		定額冷房能力(冷房) [kW]	4.7		
		定額冷房消費量(冷房) [Nm ³ /h]	31.0		
		定額冷房消費量(冷房) [Nm ³ /h]	31.0		
		冷房冷媒消費量 [kg/h]	45.0		
		冷房冷媒消費係数 a [-]	1.0		
		冷房冷媒消費係数 b [-]	0.0		
		消費電力補正係数 a [-]	1.0		
		消費電力補正係数 b [-]	0.0		
		【エラーコード】			
		10000の位	:部分負荷率条件		
		1000の位	:冷温水出口温度条件		
		100の位	:冷温水流量条件		
		10の位	:冷温水入口温度条件		
		1の位	:冷房流量条件		
		【各桁数に表示された数の意味】			
		0: good (計算結果維持範囲内)			

図 5.32 熱源機器の変更 その 1

② 「直だき吸収冷温水機」 オブジェクト(E9～F58)をコピーする。

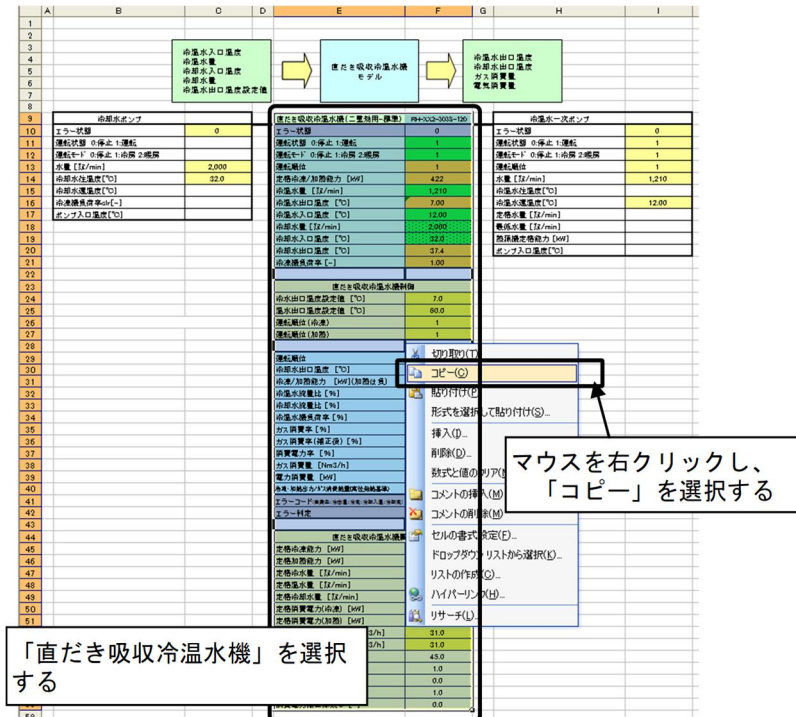


図 5.33 熱源機器の変更 その2

③ 「期間計算シート」の直だき吸収冷温水機に重なるように貼り付ける(K20～O69)。貼付け後、「直だき吸収冷温水機制御」部の「温水出口温度設定値 [°C]」の値を「55」°Cに変更する。

Q	R	S	T	U	V	W	X
19							
20	P0D-XX-003-01	直達制御の冷水機			冷水機一次ポンプ	P0D-XX-003-01	
21	0	エラー状態	切り取り	ゴド	エラー状態	1	
22	0	運転状態 0停止	貼り付け		運転状態 0停止 1運転	1	
23	2	運転モード 0停止	形式を選択して貼り付け		運転モード 0停止 1冷房 2暖房	2	
24	0	運転モード	形式を選択して貼り付け		運転モード		
25	25.0	定格冷凍/加熱能力	コピーしたセルの挿入		最低水量 [L2/min]	1.210	
26	25.0	冷水機出力 [kW]	削除		熱源機定格能力 [kW]	338	
27	0.04	冷水機出力 [L2/min]	形式と色のクリア		ポンプ入口温度 [°C]	54.72	
28	25.0	冷水機出力 [L2/min]	コメントの挿入				
29		冷水機出力 [L2/min]	セルの書式設定				
30		冷水機出力 [L2/min]	ドロップダウンリストから選択				
31	1.0	冷水機出力 [L2/min]	ウオッチの追加				
32	0	冷水機出力 [L2/min]	リストの作成				
33			ハイパーリンク				
34	187	直達	リサーチ				
35	50	冷水機出力 [L2/min]					
36	0	冷水機出力 [L2/min]					
37	0	運転モード					
38	0.0	運転モード					
39	1.0	運転モード					
40	25.0	運転モード					
41	0	冷水機出力 [L2/min]					
42	good	冷水機出力 [L2/min]					
43							
44							
45	2.040	冷水機出力 [L2/min]					
46	187	冷水機出力 [L2/min]					
47	20	冷水機出力 [L2/min]					
48	0	冷水機出力 [L2/min]					
49	2	冷水機出力 [L2/min]					
50	0.14	冷水機出力 [L2/min]					
51	20.1	冷水機出力 [L2/min]					
52	0.65	冷水機出力 [L2/min]					
53	50	冷水機出力 [L2/min]					
54	50	冷水機出力 [L2/min]					
55	30	冷水機出力 [L2/min]					
56	-0.0320	冷水機出力 [L2/min]					
57	-0.0124	冷水機出力 [L2/min]					
58	230.3955	冷水機出力 [L2/min]					
59	1.0	冷水機出力 [L2/min]					
60	0.0	冷水機出力 [L2/min]					
61							
62							
63							
64							
65							

「期間計算用構築シート」に貼り付ける。

J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y
18															
19															
20	対象条件		間接制御の冷水機			直達制御の冷水機			冷水機一次ポンプ						
21	運転状態 [°C]	1	運転状態 0停止			運転状態 0停止			運転状態 0停止 1運転						
22			運転モード 0停止			運転モード 0停止			運転モード 0停止 1冷房 2暖房						
23			運転モード			運転モード			運転モード						
24			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
25			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
26			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
27			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
28			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
29			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
30			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
31			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
32			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
33			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
34			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
35			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
36			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
37			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
38			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
39			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
40			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
41			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
42			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
43			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
44			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
45			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
46			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
47			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
48			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
49			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
50			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
51			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
52			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
53			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
54			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
55			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
56			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
57			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
58			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
59			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
60			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
61			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
62			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
63			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
64			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						
65			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]			冷水機出力 [L2/min]						

図 5.34 熱源機器の変更 その3

④ 構築シートの「計算開始ボタン」をクリックし、計算を実行する。

↓ここをクリックすると計算が開始される

初期化スイッチ 1:初期値 0:算出	0	計算開始
外気条件		計算開始行 2
乾球温度 [°C]	0.0	計算終了行 19
相対湿度 [%]	0.0	現在計算中の行
絶対湿度 [kg/kg]	0.0000	【計算状況の詳細】 表示
湿球温度 [°C]	(6.1)	計算中の日時
エンタルピー [kJ/kg]	0.0	進捗率(%)
飽和水蒸気圧 [Pa]	611	計算回数 0.00000001
水蒸気分圧 [Pa]	0	取束判定 OK

↳ 計算結果(出力データシート)

D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB
【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】	【冷温水機 取組】
1	19497929	53212691	55007171	10102895	41119818	19497929	53212691	55007171	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	17366439	37945204	55002563	10102895	41119818	17366439	37945204	55002563	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	18464715	37669109	55007867	10102895	41119818	18464715	37669109	55007867	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	13292970	37329299	55007166	10102895	41119818	13292970	37329299	55007166	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	22402297	58702384	55003492	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	17366439	37945204	55002563	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	13292970	37329299	55007166	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	13292970	37329299	55007166	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	97164667	31070778	33893263	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	42045201	35880915	16560869	10102895	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	10149261	36394716	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	74647032	35494577	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	64086972	36911617	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	56596398	35811096	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	5122693	35746563	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	42487921	31637393	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	32282011	35830446	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	14836638	35297856	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	01094485	35113922	0	0	41119818	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20																								

図 5.35 熱源機器の変更 その4

他のオブジェクトについても同様の手順で機器の差替えを行うことができる。

B) 冷温水一次ポンプ及び冷温水二次ポンプの変水量制御

変更箇所:

冷温水一次ポンプの制御部(T51、T105、T159)を「0」→「1」に変更

冷温水一次ポンプ制御	冷温水一次ポンプ制御
送水制御 0:定速 1:定圧 2:最小吐出圧	送水制御 0:定速 1:定圧 2:最小吐出圧
0	1

冷温水二次ポンプの制御部(Y28)を「2」→「3」に変更

二次ポンプ制御手法		二次ポンプ制御手法	
台数制御 0:なし 1:あり	1	台数制御 0:なし 1:あり	1
送水制御 1:定流量/定速ポンプ	2	送水制御 1:定流量/定速ポンプ	3
2:送水圧一定/定速ボ			
3:送水圧一定/可变速			
4:最小吐出圧/可变速			

C) 外気冷房制御

変更箇所:

ユニット形空気調和機(外気導入部)の外気冷房制御(AO77)を「0」→「1」に変更

外気冷房制御		外気冷房制御	
外気冷房制御(有=1/無=0)	0	外気冷房制御(有=1/無=0)	1
外気冷房時-温度上限値[°C]	25.0	外気冷房時-温度上限値[°C]	25.0
外気冷房時-温度下限値[°C]	13.0	外気冷房時-温度下限値[°C]	13.0

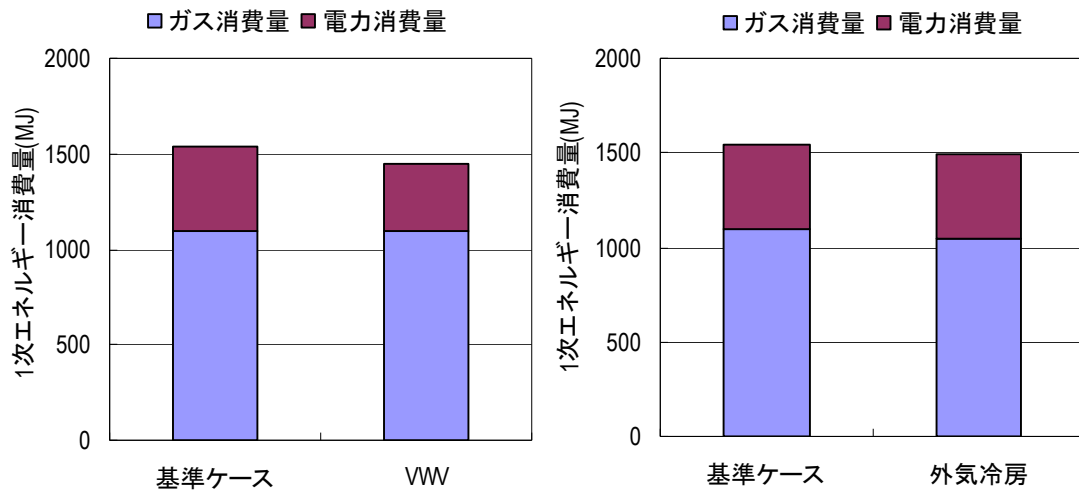


図 5.36 変水量制御と外気冷房制御変更のケーススタディ結果